

氏名	三好正嗣
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3627号
学位授与の日付	平成13年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	A randomized open trial for comparison of proton pump inhibitors, omeprazole versus rabeprazole, in dual therapy for <i>Helicobacter pylori</i> infection in relation to CYP2C19 genetic polymorphism ( <i>Helicobacter pylori</i> 除菌2剤併用療法におけるプロトンポンプ阻害剤omeprazole,rabeprazoleの無作為比較検討 特にCYP2C19遺伝子多型との関連について)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 赤木 忠厚 教授 田中 紀章

#### 学位論文内容の要旨

近年 *Helicobacter pylori* 除菌は潰瘍治療の主流となりつつある。除菌には抗生物質とプロトンポンプ阻害剤(PPI)の併用が用いられるが、抗生物質が酸感受性のため PPI による酸抑制が不可欠で、PPI の代謝が除菌効果に影響する可能性がある。PPI は CYP2C19 により代謝を受けるため、CYP2C19 の遺伝子多型が除菌率に影響すると推測される。今回我々は CYP2C19 の関与度が異なる2種類の PPI (omeprazole, rabeprazole)を用いて、抗生物質(amoxicillin)との2剤併用療法における除菌率の比較を行った。両群間に有意差はなく、CYP2C19 遺伝子多型による差も認めなかった。次に除菌の成否に関わる因子を解析するため、年齢、性別、病型、PPI の種類、CYP2C19 遺伝子多型、喫煙につき多変量解析を行ったところ、喫煙のみが有意に除菌失敗に関与する因子で(odds ratio = 3.84, p = 0.011)、喫煙群での除菌率の低下が示唆された。

#### 論文審査結果の要旨

本論文は *Helicobacter pylori* に感染された199人の消化性潰瘍患者を2群に分け、amoxicillin と omeprazole、あるいは amoxicillin と rabeprazole で治療を行い、除菌効果におよぼす因子を解析したものである。この2剤併用療法においては、これまで指摘されていた cytochrome P(CYP)2C19 遺伝子の多形性(遺伝子型)はその効果には関係せず、喫煙の習慣が有意に除菌率を低下させることを明らかにした価値ある論文であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。